

調達価格等算定委員会（第64回）

議事要旨

○日時

令和2年11月27日（金）16時00分～17時00分

○場所

オンライン会義

○出席委員

山内弘隆委員長、大石美奈子委員、高村ゆかり委員、松村敏弘委員、山地憲治委員

○事務局

茂木省エネルギー・新エネルギー部長、山口省エネルギー・新エネルギー部政策課長、清水新エネルギー課長、杉浦再生可能エネルギー推進室長、廣瀬新エネルギー課長補佐

○議題

- （1）入札（太陽光第7回）の上限価格について
- （2）入札（着床式洋上風力第1回）の上限価格について
- （3）入札（バイオマス第3回）の上限価格について

○議事要旨

- ・ 「委員会の非公開について（案）」を了承した。

（1）入札（太陽光第7回）の上限価格について

委員

- ・ 第6回の入札結果や価格目標との関係をふまえて上限価格を設定すべきではないか。
- ・ コストを着実に下げていくというメッセージが重要ではないか。

委員長

- ・ 委員の指摘を踏まえ、太陽光第7回入札の上限価格を決定した。

(2) 入札（着床式洋上風力第1回）の上限価格について

委員

- 再エネ海域利用法適用外の上限価格の設定に当たっては、再エネ海域利用法適用対象との事業条件や認定取得時期の違いを考慮するとよいのではないか。
- 再エネ海域利用法適用外へのフリーライドは抑制されているものの、分割案件が出てこないよう留意すべき。

委員長

- 委員の指摘を踏まえ、着床式洋上風力第1回入札の上限価格を決定した。

(3) 入札（バイオマス第3回）の上限価格について

委員

- 第2回の入札結果をふまえて上限価格を設定すべきではないか。
- 非FITのバイオマス発電事業が出てきていることも踏まえるべきではないか。なるべく自立に向けて誘導していくべき。
- 最もFIP制度に向いている電源として、今後のFIP制度への後押しになるような設定をするとよいのではないか。

委員長

- 委員の指摘を踏まえ、バイオマス第3回入札の上限価格を決定した。

- 以上を踏まえ、資料2に基づき「令和2年度の供給価格上限額（太陽光発電設備第7回、着床式洋上風力発電設備第1回及びバイオマス発電設備第2回）に関する意見」を取りまとめることに委員の合意が得られた。

(お問合せ先)

資源エネルギー庁

省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課

電話：03-3501-4031

FAX：03-3501-1365